

# 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| 校種  | 教科     | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
|-----|--------|--------------------|------------|
| 中学校 | 音楽（器楽） | 2                  | 1          |

## 調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観<br>点<br>発<br>行<br>者 | 基礎・基本の定着   | 主体的に学習に取り組む工夫  | 内容の構成・配列・分量   | 内容の表現・表記  | 言語活動の充実  |
|-----------------------|--|--|---|---|--|
| 17<br>教出              | <ul style="list-style-type: none"> <li>目次で、大きく2つ目標を示している。</li> <li>各楽器の基本的な演奏法が写真を使って示されている。</li> <li>リコーダー練習曲のページの端に、運指の図を示している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「合わせて練習しよう」で「Let's play!」「Let's try!」のアンサンブル曲を掲載している。</li> <li>「名曲旋律集」でソロ楽譜を掲載している。</li> <li>手作りの横笛の作り方を説明と写真で掲載している。</li> <li>「音のスケッチ」で平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏を2小節創作する活動を設定している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、日本の民謡、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲を練習曲、アンサンブル曲として掲載している。</li> <li>楽器は、アルトリコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八を取り上げている。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>プロの演奏家の写真と言葉を掲載している。</li> <li>基本的な奏法を写真で示している。</li> <li>鑑賞教材を示すマークを目次と該当ページにつけている。</li> <li>キャラクターの吹き出しで、練習ポイントを示している。</li> <li>楽器ごとに色分けして、目次や本文の見出しに使用している。</li> <li>箏の楽譜は五線を併用している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>器楽の活動において、奏する際の工夫する視点を記述している。</li> </ul>  |
| 27<br>教芸              | <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽学習マップで器楽と創作の目標を示し、「Let's play instruments!」で学習目標と学習活動を示している。</li> <li>各楽器の基本的奏法が写真を使って示されている。</li> <li>練習曲の楽譜横に、音域を示している。</li> <li>打楽器については、12種類の楽器の奏法が説明と写真で示されている。また、練習のためのリズム譜が掲載されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「アンサンブルセミナー」で、「ここが分かれば Grade up!」として、アーティキュレーションの工夫、パートの役割、曲の構成を取り上げている。</li> <li>「アンサンブル」では、学習した各楽器を組み合わせた楽曲を掲載している。</li> <li>「名曲スケッチ」で、アルトリコーダーで名曲のテーマを演奏できる楽譜を掲載している。</li> <li>「音を聴いて確かめよう」で内容と方法が示されている。</li> <li>「My Melody」で、箏を平調子に調弦して4小節の旋律をつくる課題と「Challenge!!」で前奏をつくる課題を設定している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲を練習曲、アンサンブル曲として掲載している。</li> <li>楽器は、アルトリコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八・打楽器（12種類）を取り上げている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>プロの演奏家の写真と言葉を掲載している。</li> <li>基本的な奏法を写真で示している。</li> <li>キャラクターの吹き出しで、ポイントやヒントを示している。（アンサンブルセミナー、My melody）</li> <li>楽器ごとに色分けして、目次や本文の見出しに使用している。</li> <li>箏の楽譜は五線を併用している。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>「アンサンブルセミナー」（器楽・創作）において、グループアンサンブルの中で工夫する視点を挙げると共に、具体的な学習活動を手順に沿って示している。</li> </ul> |

